

2021年度事業報告  
(2021年4月1日～2022年3月31日)

## I 事業概況

2021年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ感染症）の影響長期化による停滞感はあるものの、ワクチン接種進捗・重症化率低減などに併せた政府の経済活性化施策などにより、景気持ち直しの動きが見られました。しかしながら、1月以降はコロナ感染症の第6波にロシア・ウクライナ問題が重なり、先行き不透明感の強い状況が続いております。日本溶接技術センター（以下、当センター）の事業もこれら経済環境の影響を大きく受け、とりわけ2月以降は受講者減少・講習会延期など、厳しい事業環境に見舞われました。

表I-1に当センター事業の財務数値の推移を示します。2021年度は、昨年度比では大幅な増収・増益、予算比でも事業収入が99%・事業収支が71%とやや未達ながらも一定の成果が得られ、目標とする事業黒字化を職員全員の努力により達成いたしました。

専門学校事業の事業収入は予算比100%(昨年度比128%)です。2年次学生15名・1年次学生18名の在校生33名でスタートし、学外授業・企業見学も含め例年どおりの教育過程を終了できました。残念なことに1年次2名の退学者を出しましたが、資格取得・就職活動に関してはよい結果が得られています。なお、2022年度新入生は12名(2年次13名)です。

教育訓練事業の事業収入は予算比89%(昨年度比115%)です。資格・認証取得に関する事前準備講習は堅調に推移したが、溶接と検査の融合教育・安全衛生教育が低調、各種団体への支援活動もやや減少傾向であり、極めて苦しい事業環境に置かれています。一方、溶接分野でAWS/CWI資格取得教育、非破壊検査分野で再認証試験対策教育などを継続実施すると共に、2019年度に開始した厚生労働省「中小企業等担い手育成支援（CS）事業」の九州地区展開、新たに厚生労働省「就職氷河期世代の方向けの就職支援（SH）事業」の開催など、多岐にわたる活動を展開し収益確保に努めました。

試験検査事業の事業収入は予算比113%(昨年度比169%)です。大手依頼元であるAW検定評価試験の受注が例年並みに戻っただけでなく、一般受託試験も年度を通して高額案件の受注が続いたことから予算を達成、当センター全体の収益向上に貢献いたしました。

設備投資に関しては、投資対効果の判断基準をより厳格化し、かつ、今年度の事業黒字化達成も考慮し、緊急度の低い設備投資は2022年度以降に先送りいたしました。

2022年度も厳しい事業環境が続くと思われます。黒字化継続、収益拡大・費用圧縮に向けてあらゆる施策を推進してまいります。関係する皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

表I-1 事業活動に関する財務数値の推移

単位：千円

項目	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
経常収益	277,990	275,597	279,914	261,570	204,948	255,978
経常増減	9,791	9,499	10,808	6,151	△20,263	3,771
正味財産	386,971	393,819	401,387	404,840	382,080	382,862

## II. 2021年度事業の活動報告

### 1. 専門学校事業（継続事業－1）

例年通りの日程で全課程を修了しました。コロナ感染症の罹患者・濃厚接触者が数名確認され年度末試験はレポート方式に急遽変更となりました。学校運営会議では一定数の学生確保の観点から各学科の特色を強めたカリキュラムの見直しを行いました。web入試も好評です。

表Ⅱ－1に昨年度と比較し、本年度の在校生人員構成を示します。本年度は、期初に33名でスタートし、出席数・授業態度に問題のある学生に対し保護者面談などにより授業態度の改善指導を行いました。結果、中途退学者を2名出しました。結果、専門士としての卒業は15名（2年制）、1年制で卒業（就職）が3名、進級が13名となりました。

表Ⅱ－1 在校生の人員構成（年度開始時）

学科名称	2021年度	2020年度	2019年度
溶接・検査技術科（1年制）	5	7	5
設備・構造安全工学科（1年次）	4 <2>	3	1
設備・構造安全工学科（2年次）	5	0	5
鉄骨生産工学科（1年次）	9	9 <1>'(1)	7 休学2
鉄骨生産工学科（2年次）	10	6 <1>'(1)	4
合計	33	25	22

注) <> 退学 () 聴講生

年間行事・活動：（入学式・卒業式を除く）

#### \* 外部見学会

- (1) 6月15日 学外授業（岸本建設工業 平塚）鉄骨2年
- (2) 8月21日 企業見学（日本ファブテック 熊谷工場）鉄骨2年
- (3) 11月5日 学外授業（電気資料館）設備2年
- (4) 12月8日 全校企業見学（神戸製鋼所、タツノ）

#### \* 学校見学会（オープンキャンパス／8月3日～8月7日）

5月6日、7月8日、9月2日、10月14日、11月4日、12月2日  
1月6日、2月3日

#### \* 入学試験 11月11日、12月9日、1月13日、2月13日、3月3日

#### \* web入試 11月8日、12月6日、1月10日、2月21日

#### \* 学校運営会議・カリキュラム審議会

6月1日、8月17日、1月27日、2月28日

就職状況：

就職対象者数：4名 進路内定者数：4名

実家等（旧職場復帰を含む）：12名

その他：

神奈川県溶接技術コンクールへの出場

## 2. 中長期的視点に立った教育・訓練事業（継続事業－2）

溶接技術及び非破壊検査技術に関して将来を展望した活動に重点を置き、技術相談の受託・講習会を実施しました。また、以前から取り組んできている高校生を対象にした教育についても関連団体と協力し重点的に取り組むことができました。

自動車車体補修溶接に携わる技術者の基礎知識取得を目的とした「車体整備における溶接の基礎研修会」を開催しました。今後は関連団体と協力して自動車補修時に必要となるプラグ溶接の技術講習会の立上げを予定しております。

なお、本事業の目的は、溶接技術・非破壊検査技術や材料技術に関して、関係業界を支援していくことにあり、技術の普及と若手技術者の育成を含めて継続実施していくことが必要であると考えています。

表Ⅱ－2 溶接技術者／検査技術者の育成普及活動（参加者数）

各種講習活動	2021年度	2020年度	2019年度
抵抗溶接実務教育講習（2日）川崎1回	5	6	38
工業高校のための非破壊検査研修会	41	39	86

### 技術支援活動：

#### 企業・団体の技術指導

- (1) A社：抵抗溶接部不具合
- (2) NS社：溶接部不具合
- (3) D社：ろう付部水漏れの原因と対策
- (4) K社：自動ドア回転軸の破壊原因調査
- (5) N製作所：柱梁接合部組織変化、S A W研究会

### 委員会活動：

#### 関連団体の委員会活動に参加・協力

- (1) J W E S：  
J-ANB認証・試験、管理委員会  
IWIP検査技術者WG  
WO教育委員会（学科講習会、CS事業WG）  
WCD溶接材料部会技術委員会  
CIW（講習会、運営委員会）

### 教育・訓練活動その他：

#### 関連団体の活動に参加・協力

- (1) 建災防：アーク特別安全教育講師養成講座
- (2) 中災防：アーク安全特別教育テキスト改訂委員会
- (3) 日車協連：自動車補修接合管理者用教本作成

### 3. 現状に対応した教育・訓練事業（他事業－1）

本事業は当センターの経営の根幹であり、溶接技術ならびに非破壊検査技術に関する教育・訓練活動です。以下に、それぞれの取り組み概要をまとめて報告します。

2021年度はほぼ例年通りの活動ができ、受講・研修者数も2020年度からは大幅に回復、一定の収益は確保できました。しかしながら、コロナ感染症罹患への危惧からか、目標とした2019年度並みの水準には至りませんでした。年度途中より講習会などの定員を増やしましたが、受講・研修者数の増加に繋がりませんでした。

#### ① 資格・認証取得に関する事前準備講習

各資格・認証毎の受講者数を表Ⅱ－3（1）～（4）に示します。2020年度実績との比較では次のとおり増加しました。

- ・溶接管理技術者講習会、直前講習会の受講者が大きく増加： 表Ⅱ－3（1）
- ・鉄骨製作管理技術者講習会の受講者は多少増加： 表Ⅱ－3（2）
- ・非破壊検査技術者講習会の受講者が大幅に増加： 表Ⅱ－3（3）
- ・溶接技能訓練の受講者（厚労省事業-溶接協会委託事業を含む）、被覆アーク溶接の受講者が大きく増加： 表Ⅱ－3（4）

表Ⅱ－3（1） 溶接管理技術者認証（溶接技術教育）（受講人数）

名 称	2021年度	2020年度	2019年度
事前集中講座 W E S 1 級（4日間）	25	23	33
W E S 2 級（3日間）	51	55	48
直前演習講座 W E S 1 級（2日間）	42	7	34
W E S 2 級（2日間）	19	12	22
合 計	137	97	137

表Ⅱ－3（2） 鉄骨製作管理技術者認証（鉄骨溶接技術教育）（受講人数）

名 称	2021年度	2020年度	2019年度
事前対策講座 1 級	15	17	30
事前対策講座 2 級	14	6	7
合 計	29	23	37

表Ⅱ-3(3) 非破壊検査技術者認証(非破壊検査技術教育) (受講人数)

区分	名称	2021年度	2020年度	2019年度
基礎入門講座 (実技+座学) 夏季(7月)	超音波探傷入門・基礎	38	16	18
	超音波探傷器取扱	0	0	0
	浸透探傷基礎講座	33	24	12
	磁粉探傷基礎講座	0	0	0
	小計	71	40	30
一次対策講座 (座学) 秋季(8月)	超音波探傷試験(レベル1,2)	36	31	44
	放射線透過試験(レベル1,2)	4	0	10
	浸透探傷試験講座(レベル1,2)	14	17	11
	磁気探傷試験講座(レベル1,2)	23	22	15
	材料科学講座	3	6	6
小計	80	76	86	
二次対策講座 (実技) 春季(5月)	超音波探傷試験(レベル1,2,3)	103	37	131
	放射線透過試験(レベル1,2,3)	32	12	29
	浸透探傷試験講座(レベル1,2,3)	95	32	98
	磁気探傷試験講座(レベル1,2,3)	48	35	41
	小計	278	116	299
再認証試験 対策講座 (実技) 春季(5月)	超音波探傷試験(レベル1,2,3)	41	56	61
	放射線透過試験(レベル1,2,3)	15	22	16
	浸透探傷試験講座(レベル1,2,3)	48	57	40
	磁気探傷試験講座(レベル1,2,3)	34	38	48
	小計	138	173	165
合計		567	405	580

表Ⅱ-3(4) 各種溶接技能訓練受講者数 (人、人・回)

区分	名称	2021年度	2020年度	2019年度
個人(企業) からの研修受託	短期教育:一、二週間コース	17	8	13
	長期研修:一ヶ月コース	14	4	5
	三ヶ月以上	0	0	0
計		31	12	18
検定試験対策 各種技能訓練 (1日換算)	被覆アーク溶接訓練指導 <TIG、組合せ、その他>	220	20	127
	半自動アーク溶接訓練指導(含むSH)	256	196	263
	ろう付技能訓練指導	43	46	54
	ステンレス鋼溶接訓練指導	132	103	180
	アルミニウム溶接訓練指導	15	16	23
	軽溶協/ハンツ方式 教育指導	29	26	33
計		695	407	680

## ② 国際化対応教育

国際教育関連のAWS-CWI事業は例年通り実施、GE検査員講習会は実施されませんでした。AWS-CWI資格取得支援の結果を表Ⅱ－4（1）に示します。今年度は新規受験者が若干増加しました。AWSはCBT（Computer Based Test）を実施していますが、PartA,B,Cの3partのうちPartBのみはAgentで受験することを義務付けており、受験者にはこれまでと同様の要領で講習会、PartB試験を継続していくことになりました。

GE社指定の教育訓練はコロナ感染症禍より開催されませんでした。

表Ⅱ－4（1） AWS-CWI資格試験の教育活動 受験・受講人数 (人)

名 称	2021年度	2020年度	2019年度
資格試験の受験者 新規受験者	11	9	16
再受験者	1	6	1
9-yr更新受験者	7	8	10
試験準備講習会（7日間） 全パート受講	13	13	18
一部受講（再試験）	2	0	0
一部受講（9-yr）	6	6	11
受験結果 CWI合格	11	14	13
受験者数	13	23	30

表Ⅱ－4（2） GE社航空部門溶接検査員資格取得講座 受講人数 (人)

名 称	2021年度	2020年度	2019年度
目視検査員コース	中止	9	5
指導員資格コース	中止	2	1
合 計	中止	11	6

## ③ 溶接技術と検査技術の融合教育

溶接・検査技術、両者を合わせた研修を行っています。企業・団体単位での社員・職員の技術研修の要請に対しては、ここ数年、リピータ（主に新入社員）を確保しています。しかしながら、各企業・団体ともコロナ感染症「まん延防止措置」などへの自制が強く、延期もしくは中止となることが多々ありました。

表Ⅱ－5 企業・団体の社員教育（溶接・検査融合教育） (人)

名 称	2021年度	2020年度	2019年度
千代田工商 新入社員 溶接・検査 基礎講習(5日)	23	50	42
発電技検（5日）	3	2	1
千代田化工建設 新入社員溶接・非破壊実習（2.5日）	16	14	19
瀧上工業 新入社員 溶接・検査 基礎講習(5日)	中止	12	10
KH	中止	4	9
NSテックスエンジ 溶接・検査 基礎講習(2日)	中止	9	12

#### ④ 安全衛生教育

アーク溶接特別講習・ガス溶接技能講習の受講者は増加しました。振動工具特別教育・自由研削砥石講習は変化ありません。

2019年度に開始したベトナム人実習生などに対するアーク溶接特別講習・ガス溶接技能講習（通訳付き、翻訳教材・筆記試験）を継続実施し、27名が受講しました。

表Ⅱ－6 安全各種溶接技能訓練受講者数 (延べ人数／開催回数)

名 称	2021年度	2020年度	2019年度
アーク溶接特別講習	289/16	193/10	409/20
ガス溶接技能講習	443/33	363/26	508/35
粉じん特別教育	中止	中止	25/1
振動工具特別教育	17/1	18/1	13/1
自由研削砥石講習	45/4	45/5	116/5

#### ⑤ 各種団体への支援活動

日本溶接協会の鋼検定、軽金属溶接協会のアルミ検定、日本非破壊検査工業会の要員認証事業に対し、施設提供に加えて実務的な立場から協力しました。

表Ⅱ－7 溶接技能認証（検定）の支援活動 (延べ人数)

名 称	2021年度	2020年度	2019年度
軟鋼の被覆アーク溶接（組合せ、ガスを含む）	642	818	702
ステンレス鋼の溶接	504	527	777
炭酸ガス半自動アーク溶接	783	996	854
ろう付け	201	215	255
アルミニウムの溶接	28	26	622
チタンの溶接	57	24	93
計	2,215	2,606	3,303

#### ⑥ 教育訓練用試験体の普及活動

非破壊検査技術に関する教育用試験体の開発に協力し、普及に努めています。

表Ⅱ－8 教育訓練用PT試験体の普及推進 (個数)

名 称	2021年度	2020年度	2019年度
PT1	21	1	16
PT2	17	64	32
エルボ型	10	9	26
TSC型	0	5	20
TSCW型	4	2	28
計	52	81	122

⑦その他活動・技術指導等

- ・溶接技能認証支援（日本溶接協会、軽金属溶接協会、日本ボイラ協会の検定業務）  
基本級受験者向け学科講習会に協力（ステンレス、被覆アーク溶接、半自動溶接）
- ・溶接技術コンクールなどの支援活動
- ・ベトナム人研修生受け入れ支援体制の検討 ⇒ 計画延期
- ・W E S - C S（中小企業等担い手育成支援事業） ⇒ 今年度で終了  
半自動溶接SA-2Fの取得及びSA-3F・H,SA-2V・Hの受験教育、2019～2021年度（5期）  
九州地区：第2期（宮崎）、第3期（熊本）
- ・W E S - S H（厚生労働省「就職氷河期世代の方向けの就職支援事業」）に協力  
被覆アークA-2F/半自動SA-2Fの取得及びTN-1F/ SA-3F・H/SA-2V・Hの受験教育  
全国：2020～2022年度、2021年度は宮崎・愛知・北海道・川崎で開催
- ・日車協連：自動車補修接合管理者インストラクター教育（川崎、山梨）

4. 試験・検査事業（他事業一2）

2021年度は、年間を通して好調を維持し、予算を達成しました。

AW検定試験の委託業務は活発でしたが、検定体の非破壊検査結果が芳しくなく、2019年度の水準には至りませんでした。一般の受託試験は、件数は減少したものの規模の大きな案件を継続受注することができ予算達成に貢献しました。

表II-9 試験検査事業

(件数)

区 分	名 称	2021年度	2020年度	2019年度
1	金属材料 受託試験検査	331	384	474
2	技術相談	0	6	0
3	A W検定試験	138	57	152
4	外部出張	0	1	0
計		469	448	626

建築分野	:	18 社	6%
橋梁分野	:	25 社	8%
容器・配管分野	:	89 社	30%
材料分野	:	136 社	46%
ｽﾀｯﾄﾞ 溶接/土木	:	27 社	9%

5. リソース活用事業

施設・設備機器の貸与などによる資産の有効利用を図りました。

関係する主な団体は次のとおり

神奈川県溶接協会

軽金属溶接協会

日本非破壊検査工業会

日本エルピーガスプラント協会

全国鉄構業協会

## 6. その他

### 1) 展示会等への参加 (PR活動)

2021年度はこれまで参加してPR活動を行ってきた全構協青年部全国大会、進路フェスタin かながわ、関東甲信越高校生溶接コンクールなど、殆どのイベントが中止になりました。

### 2) 施設維持・保全

投資対効果の基準を厳しくし、かつ緊急度の高い案件に絞って実施しました。

下水管高圧洗浄	517千円
水道配管修理	357千円
トイレ修理	330千円
PC (1階・4階)	349千円

計 1,553千円

### 3) 人事関連

教育訓練事業の計画に沿ってベトナム人職員を採用しました。かつ、職員の定年退職にあわせて、溶接2名・非破壊検査1名・事務1名を採用しました。退職者は3名です。退職と採用の時期ずれから一時的ではありますが、人件費は増加しました。

### 4) 賛助会員

1社の退会があり37社となりました。年々、微減傾向です。

## III 会務報告

### 1. 監事会

日時 2021年5月18日 13時～15時

議案 (1) 2020年度事業活動及び決算内容の監査

### 2. 理事会

#### 2. 1 第28回定例理事会

日時 2021年6月4日 10時～12時

議案 (1) 2020年度事業報告書の審議  
(2) 2020年度決算報告書の審議  
(3) 2020年度公益目的支出計画実施報告について  
(4) 2021年度夏季賞与の支給について  
(5) 評議員会の開催について

#### 2. 2 第29回定例理事会 (書類審議)

日時 2021年7月30日

議案 (1) 理事長及び専務理事の選任について

2. 3 第30回定例理事会

日時 2021年11月25日 10時30分～12時

- 議案 (1) 2021年度上半期事業活動経過報告  
(2) 2021年度上半期会計報告  
(3) 2021年度冬季賞与の支給について

2. 4 第31回定例理事会

日時 2022年3月28日 10時30分～12時

- 議案 (1) 2022年度事業方針・事業計画の審議  
(2) 2022年度予算(案)の審議  
(3) 2021年度年度末賞与の支給について

3. 評議員会

3. 1 第16回定時評議員会

日時 2021年6月21日 10時～12時

- 議案 (1) 2020年度事業報告書の承認  
(2) 2020年度決算報告書の承認  
(3) 評議員・理事・監事の再任・新任について  
(4) 役員の報酬規程（改訂案）について

3. 2 第17回評議員会

日時 2021年12月7日 13時～14時

- 議案 (1) 2021年度上半期事業活動経過報告  
(2) 2021年度上半期会計報告